



このたび受賞された皆様、おめでとうございます。素晴らしい手話パフォーマンスを披露してくださった16チームの皆様、本当に感動いたしました。出場チームの皆様、心より拍手を送るとともに、敬意を表します。

予選会58チームから本大会16チームを選考する過程に携わることができ、前回以上に難しい審査になることを実感しながらも、審査員全員で頑張りました。審査員を務めてくださった皆様、ありがとうございました。

さらに、過去との比較において、私たち大人にはない高校生らしい情熱、思いのこもったパフォーマンスが多かったと感じました。

優勝チームの講評をさせていただきます。まず、演劇・コント・ポエム等部門は、三連覇の熊本聾学校です。手話パフォーマンスのレベルが非常に高く、手話演技だけでなく、フィーリングの工夫、感じたままに表現する真っ直ぐな思いが伝わりました。手話表現、表情ではなく、手から織りなすキャラクターの変化、こちらも面白いものでした。来年も優勝をかけて頑張ってください。本当におめでとうございます。

続いて、ダンス・歌唱部門は、神戸野田高等学校で

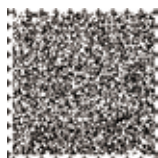
す。審査員席で見えて、素直さ、ひたむきさ、新鮮さを感じました。感動いたしました。昨年初めて出場をされ、昨年もちろん頑張ったパフォーマンスでしたが、今回は、昨年に増してさらにレベルアップされたものを感じました。チームワーク、一人一人の力がしっかりと伝わる迫力なダンスでした。本当におめでとうございます。

最後になりますが、今回素晴らしい手話パフォーマンスを披露してくださった出場チームの皆様、参加されて終わりではなく、今後の更なる飛躍のきっかけにしていきたいと思います。

手話パフォーマンスは、手話言語の正確さが主役であると思います。このことを忘れないでください。更なる高みと魅力を目指して手話技術を磨いていただきたいと思います。

そして、秋篠宮佳子内親王殿下の素晴らしいお言葉を胸に、感謝しながら全国高校生手話パフォーマンス甲子園が日本中の若い高校生の憧れのステージとなりますよう、手話パフォーマンスが多くの方に愛されるよう、手話の聖地が発展されることを心からお祈りしております。

甲子園に関わってくださった皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



◀目の不自由な方のための音声コード



演劇・コント・ポエム等部門8チーム、ダンス・歌唱部門8チームの皆様、そして、審査員の皆様、御来場いただいた皆様、オンラインで御覧の皆様 お疲れ様でした。

演劇・コント・ポエム等部門優勝の熊本聾学校の皆さん、ダンス・歌唱部門優勝の神戸野田高等学校の皆さん、おめでとうございます。惜しくも優勝を逃した高校の皆さんも、すばらしかったです。

さて、今年の6月に手話施策推進法が制定され、手話言語に対する注目が更に高まってきています。また、11月に東京2025デフリンピックが開かれます。デフアスリートの活躍やデフリンピックの成功は、私たちに夢と感動を与えてくれることでしょう。デフリンピックの認知度を上げ、きこえない・きこえにくい人や手話言語の理解が進むためには、皆様の御協力が必要不可欠です。一緒に盛り上げていきましょう。

そういった意味では、この手話パフォーマンス甲子園が開催される意義はとても深く、これからもこの大会がより一層盛り上がることを期待しております。

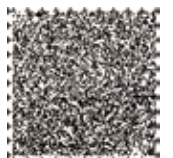
そして、本大会を通して、誰一人取り残されることのない真の共生社会の構築をめざしていくことにつな

ればと思います。

今大会の開催にあたり、御尽力いただきました関係者の皆様、誠にありがとうございました。来年もぜひお会いしましょう。

以上をもちまして、第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を閉会といたします。

本日は、本当にありがとうございました。





● ^{にち じ}
日時

令和7年9月13日(土) 18時～20時30分

● ^{かいじょう}
会場

鳥取県立美術館
(鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12)

● ^{しゅっせきしゃ}
出席者

約230名

- 手話パフォーマンス甲子園出演者
(出場チーム、審査員、司会など)
- 来賓
(全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会議員など)
- 主催、共催者
(実行委員会委員、鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会)

● ^{しゅ さい}
主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

● ^{けいしき}
形式

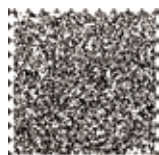
立食ビュッフェ

● ^{し だい}
次第

- 主催者あいさつ(平井 伸治 鳥取県知事)
- 乾杯(福田 俊史 鳥取県議会議長)
- 御歓談
- 高校生司会者紹介
- 出場チーム抱負
- サインエール
- 高校生フリー交流

● ^{こうしつ ご りん せき}
皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただきました。



◀目の不自由な方の
ための音声コード

●アトラクション(サインエール)

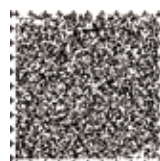
デフリンピックにちなんだ、デフアスリートに届ける新しい応援スタイル「サインエール」をみんなで学びました。

●こうこうせい高校生フリー交流こうりゅう

高校生フリー交流では「交流カード」の交換などを通じて、出場チーム同士の交流を深めました。



目の不自由な方の▶
ための音声コード





予選審査会

日時

令和7年7月17日(木)

会場

鳥取県庁会議室 ※一部オンライン開催

審査員(9名)

審査員長



ろう者

しょうざき たかし
庄崎 隆志さん
演出家・劇作家・俳優
※審査員長は両部門の
審査を実施

演劇・コント・ポエム等部門



ろう者

かわはら まさひろ
河原 雅浩さん
一般財団法人全日本
ろうあ連盟副理事長



ろう者

ながい えり
長井 恵里さん
俳優、手話表現者

ダンス・歌唱部門



ろう者

よしおか おさむ
善岡 修さん
俳優、ダイアログ・イン・
サイレンス アテンダー



ろう者

さんご
瑚さん
ダンサー、振付師



きこえる人

たなか ゆか
田中 結夏さん
舞台手話通訳者、手話
通訳士、俳優、保育士



きこえる人

なか ともみ
中 朋美さん
鳥取大学地域学部准教授



きこえる人

はしもと いちろう
橋本 一郎さん
亜細亜大学経営学部
経営学科特任准教授、
手話アーティスト



きこえる人

おかざき まさこ
岡崎 正子さん
鳥取ダンス協会理事、
studiодо-hip主宰

審査方法

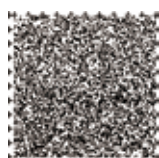
各チームから提出を受けた予選審査動画を視聴の上、各部門審査員5名による審査を行い、本大会に出場する16チームを選出しました。

審査結果は全国へ配信

7月18日(金)に、結果発表及び本大会発表順などの発表を行い、その様子を全国に向けてインターネットにてライブ配信しました。



ライブ配信画面・映像の様子



◀目の不自由な方
のための音声コード

よ せんさん か 予選参加チーム

第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けて、27都府県から58チーム(62校)の参加申込みがありました。

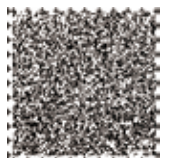
演劇・コント・ポエム等部門

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ・盛岡聴覚支援学校(岩手県) | ・鳥取城北高等学校(鳥取県) |
| ・聖光学院高等学校(福島県) | ・鳥取聾学校(鳥取県) |
| ・大宮ろう学園(埼玉県) | ・境港総合技術高等学校(鳥取県) |
| ・クラーク記念国際高等学校所沢キャンパス(埼玉県) | ・岡山県美作高等学校(岡山県) |
| ・自由の森学園高等学校(埼玉県) | ・広島修道大学ひろしま協創高等学校(広島県) |
| ・豊南高等学校(東京都) | ・尽誠学園高等学校(香川県) |
| ・潤徳女子高等学校(東京都) | ・済美平成中等教育学校(愛媛県) |
| ・横浜南陵高等学校(神奈川県) | ・松山聾学校(愛媛県) |
| ・横浜市立ろう特別支援学校(神奈川県) | ・宇和特別支援学校(愛媛県) |
| ・小杉高等学校(富山県) | ・三井高等学校(福岡県) |
| ・石川県立ろう学校(石川県) | ・佐賀星生学園(佐賀県) |
| ・田鶴浜高等学校(石川県) | ・熊本聾学校(熊本県) |
| ・金沢北陵高等学校(石川県) | ・上天草高等学校(熊本県) |
| ・杏和高等学校(愛知県) | ・鵬翔高等学校(宮崎県) |
| ・高浜高等学校(愛知県) | ・五ヶ瀬中等教育学校(宮崎県) |
| ・山城高等学校(京都府) | ・宮崎日本大学高等学校(宮崎県) |
| ・日星高等学校(京都府) | ・陽明高等学校チバリヨチーム(沖縄県) |
| ・精華高等学校(大阪府) | ・陽明高等学校焼肉オハナチーム(沖縄県) |
| ・鳴尾高等学校(兵庫県) | |

ダンス・歌唱部門

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ・ぐんま国際アカデミー中高等部(群馬県) | ・彦根総合高等学校(滋賀県) |
| ・小川高等学校(埼玉県) | ・京都八幡高等学校南キャンパス(京都府) |
| ・大川学園高等学校(埼玉県) | ・久米田高等学校(大阪府) |
| ・豊南高等学校(東京都) | ・神戸野田高等学校(兵庫県) |
| ・南葛飾高等学校(東京都) | ・米子松蔭高等学校(鳥取県) |
| ・足立東高等学校(東京都) | ・米子東高等学校(鳥取県) |
| ・横浜富士見丘学園高等学校(神奈川県) | ・岡山後楽館高等学校(岡山県) |
| ・龍谷富山高等学校(富山県) | ・久留米筑水高等学校(福岡県) |
| ・啓新高等学校(福井県) | ・立花高等学校(福岡県) |
| ・身延山高等学校(山梨県) | ・神埼清明高等学校(佐賀県) |
| ・吉原高等学校(静岡県) | ・芦北高等学校(熊本県) |
| ・安城生活福祉高等専修学校(愛知県) | ・大分東明高等学校(大分県) |
| ・さつき調理・福祉学院(愛知県) | ・興南高等学校(沖縄県) |
| ・菊華高等学校(愛知県) | |

目の不自由な方の▶
ための音声コード





● 広告など

- ・日本海新聞／記事体広告（2回）
- ・日本海新聞／うさぎの耳 1ページ（1回）
- ・日本海テレビ／開催告知テレビCM 15秒（54回）
- ・日本海テレビ／情報番組「スパイス」にて告知



日本海新聞／記事体広告



日本海新聞／記事体広告



日本海新聞／うさぎの耳



開催告知テレビCM

● チラシなど



A4版チラシ
参加チーム募集編



A4版チラシ
本大会開催PR編



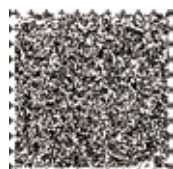
B1版／B2版
ポスター



のぼり



懸垂幕



◀目の不自由な方
のための音声コード

● ホームページ・SNS

公式ホームページサイト、Facebook、Instagram、X、LINE、YouTubeを活用し、大会情報など随時発信しました。また、大会オリジナルLINEスタンプも販売しています。

しゅわ こうし えん どうが
手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル

<https://www.youtube.com/user/skoushien> チャンネルはこちら▶



・YouTube動画



手話パフォーマンス紹介編



How to手話パフォーマンス編



参加校による大会公式ソング映像

・YouTubeでのライブ配信

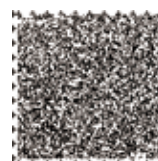


7月18日(金) 予選審査結果発表



9月14日(日) 本大会

目の不自由な方の▶
ための音声コード





本大会 審査実施要領

第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会審査実施要領[抜粋]

1 概要

- (1) 日程 令和7年9月14日(日)
- (2) 場所 エースバック未来中心(倉吉市駄経寺町212-5)

2 審査員

- 審査員は、部門別に以下の通り設置する。(原則として予選審査会に同じ)
- (1) 演劇・コント・ボエム等部門 演劇、コント、落語、その他のパフォーマンス 計5名(きこえない・きこえにくい審査員3名(うち1名審査員長)、きこえる審査員2名)
 - (2) ダンス・歌唱部門 ダンス・歌唱を中心としたパフォーマンス 計5名(きこえない・きこえにくい審査員3名(うち1名審査員長)、きこえる審査員2名)

3 審査方法

審査は「演劇・コント・ボエム等部門」「ダンス・歌唱部門」の2部門に分けて実施する。5の採点方法に基づき各部門の審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

4 演技時間等

- (1) 演技時間は、部門別に設定し
演劇・コント・ボエム等部門(演劇、コント、落語、その他のパフォーマンス)3分以上8分以内
ダンス・歌唱部門(ダンス、手話歌・歌唱を中心としたパフォーマンス)3分以上6分以内とする。
- (2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行った後のライト点灯時から開始し、生徒の「ありがとうございました」の手話表現をもって終了する。
- (3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき(不明確な場合も含め)主催者が判断することとする。
- (4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

《演劇・コント・ボエム等部門》

- ・演技開始3分まで → 白
- ・3分経過(演技時間下限到達)から7分30秒まで → 青
- ・7分30秒経過(残り30秒前)から8分(上限時間)まで → 黄
- ・8分超過(演技時間上限超過) → 赤

《ダンス・歌唱部門》

- ・演技開始後3分まで → 白
- ・3分経過(演技時間下限到達)から5分30秒まで → 青
- ・5分30秒経過(残り30秒前)から6分(上限時間)まで → 黄
- ・6分超過(演技時間上限超過) → 赤

- (5) 演技の準備時間は、概ね1分以内とする。
- (6) 演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う 等)

5 採点方法

- (1) 各部門の各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

項目	きこえない・きこえにくい人	きこえる人	1チーム当たりの点数
手話言語の正確性・伝わりやすさ	20点	10点	
演出力・パフォーマンス度	30点	30点	
審査員一人当たりの採点	50点満点	40点満点	
審査員の数	3名	2名	
合計	150点満点	80点満点	

※5 段階審査基準 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:非常に劣っている

※審査方法:ステージ演技による審査を行い、手話言語の正確性・伝わりやすさと演出力・パフォーマンス度の観点から採点し、各受賞チームを決定する。

- (2) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議(減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。)により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項目	内容
差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
定められた演技時間の上限を超過した場合 ○演劇・コント・ボエム等部門 (例:8分を超え8分30秒まで △10点、8分を超え9分まで △20点) ○ダンス・歌唱部門 (例:6分を超え6分30秒まで △10点、6分を超え7分まで △20点)	超過30秒ごとに10点減点
定められた演技時間の下限(3分)に達しなかった場合	10点減点
演技上のセリフや手話言語に対応した字幕以外が表示してある場合	10点減点
その他、定められたルールに反した場合※	5点減点
その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※「その他、定められたルールに反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。

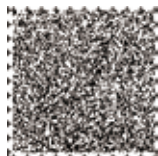
- ・1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。
- ・スクリーンに表示する内容に動画を使用した場合。
- ・舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。
- ・演技終了の合図(「ありがとうございました」の手話表現)を全く行わず、演技を終了させた場合。

6 表彰チームの決定方法等

- (1) 各部門の優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。
- (2) 審査得点が同点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。
ア「手話言語の正確性・伝わりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。
イアが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。
- (3) 審査員特別賞は審査員で協議の上、各部門ごとに決定する。
- (4) 全日本ろうあ連盟賞は、部門を問わず全日本ろうあ連盟が決定する。
- (5) 日本財団賞は、部門を問わず日本財団が決定する。
- (6) 鳥取県聴覚障害者協会賞は、部門を問わず鳥取県聴覚障害者協会が決定する。
- (7) その他、上記受賞チーム以外全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評(審査員名は非公開)を送付する。
- (2) 各部門の本大会出場チームについて、チーム名及び審査得点(優勝、準優勝及び3位に限る。)を、大会公式ホームページに掲載する。



◀目の不自由な方
のための音声コード



手話パフォーマンス甲子園実行委員会

実行委員会委員

※令和7年7月1日現在

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事	堀米 泰晴
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	澤田 敬子
	鳥取県商工会議所連合会 会長	児嶋 祥悟
	鳥取県教育委員会 教育長	足羽 英樹
	鳥取県福祉保健部長	中西 眞治

そう だん やく

相談役【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
相談役	日本財団 会長	尾形 武寿

監事

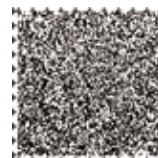
役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	中島 洋一
	鳥取県会計管理部会計指導課長	坪内 康子

き かく すい しん かい ぎ い いん

企画推進会議委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	遠藤 紅弥
委員	国立大学法人筑波技術大学 講師	小林 洋子
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	清水 愛香
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会	山根 和志
	鳥取県手話通訳士協会	綿本 香穂
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 運営委員	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会 会長	横原 章二
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	松田 繁
	鳥取県教育委員会 教育次長	下田 智美
	鳥取県高等学校長会 会長	酒井 信彦
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	長崎 成輝
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	安本 理恵

目の不自由な方の
ための音声コード





第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

●主催／手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●共催／鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会 ●特別協力／一般財団法人 全日本ろうあ連盟 ●特別協賛／日本財団

●後援／内閣府、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省、倉吉市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、公益社団法人全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、一般社団法人日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSKさんいん中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、DARAZFM

●裏表紙イラスト／好文学園女子高等学校3年 ^{あんどう りな} 安藤里菜さん (大会ポスターデザイン最優秀賞)

●協賛／



AKASHI S.U.C.



日本財団



聴覚障害児入所施設
アレーズ 秋桜
社会福祉法人永春会



Gibraltar
ジブラルタ生命



Otsuka 大塚製薬

SUNTORY



鳥取銀行



こうぎん



マルサンアイ鳥取株式会社



TTC 総局取県情報センター
TOTTORI PREFECTURE INFORMATION CENTER

AEON



nep



G-Media



マルイ

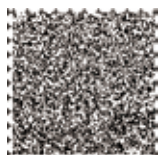


株式会社 不二家システムセンター

●特別協賛／

Supported by

日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



手話パフォーマンス甲子園実行委員会

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 (鳥取県 福祉保健部 ささえあい福祉局 障がい福祉課内)

TEL.0857-26-7682 FAX.0857-26-8136

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>

手話パフォーマンス甲子園

検索